第 9 講　地方からの視点と日本の産業・文化の確立
PART2 戦国の争乱

Chapter 1　戦国時代の開始と下剋上

目標
応仁・文明の乱が起こった原因を知ろう。
畿内で有力な戦国大名が成長しにくかったのはなぜだろう？

1　室町幕府の情勢

①［1　　　　　　　　　　　　］（1467 ～ 77 年）

A　原因

あ　**８代将軍**［2　　　　　　　　］の失政と正妻**日野富子**との関係悪化

※芸術・造営事業の浪費，明からの厳しい貿易制限など。

い　**将軍家の後継争い**（**足利義視**〔義政の弟〕vs **足利義尚**〔義政の子〕）

う　管領家（畠山氏〔政長・義就〕・斯波氏〔義敏・義廉〕）の家督継承問題

え　［3　　　　　　　　］と**山名宗全〔持豊〕**の勢力争い

B　経過

1467 年，畠山政長軍と義就軍が京都で衝突。守護大名たちが**細川方**（**東軍** 16 万）・**山名方**（**西軍** 11 万）に分かれて対立，京都を主戦場とするが全国に波及。

※年内に東軍が将軍邸を占拠し義政・義視・義尚を手中にしたが，
翌年には義視が西軍に移り，東（義政・義尚）西（義視）の幕府が成立。

※1473 年には両軍の総大将が死去，将軍義政も引退し**９代将軍義尚**が就任するが
戦いは収まらず。1477 年に至り戦いに疲れた両軍の間に和議が結ばれ，
守護大名の多くは領国に下り，地域的紛争が全国に広がった。

C　結果

あ　**幕府権威の失墜**→将軍の勢力基盤

将軍の支配力はほぼ山城国一国のみとなる。

☆幕府も有力守護大名の連合政権という
形式をとれなくなった。

足軽

い　**京都の荒廃・焼失**→雑兵である［4　　　　　］の略奪・放火

※公家・僧侶の没落と地方下向により朝廷の機能低下と**文化の地方普及**が進む。

う　荘園公領制の崩壊→公家・寺社の勢力基盤

戦乱の中で地方の守護代や国人が年貢を横領し，荘園を略奪。

え　守護領国制の衰退→守護大名の勢力基盤

下の者が上の者の勢力をしのいでいく〔5　　　　　　〕の風潮が高まり，

守護代や国人に領国を奪われる守護大名もあった。

お　**戦国大名**の登場

争乱が全国に波及し，以後約 100 年にわたる〔6　　　　　　〕に突入。

②乱後の室町幕府の情勢

1493 年，管領細川政元により 10 代将軍義材が 11 代将軍義澄と交替（＝**明応の政変**）。

※16 世紀半ば，管領細川晴元を重臣の三好長慶が追放したが，

その死後，家臣の**松永久秀**や三好三人衆が実権を握る。

※1565 年，彼らは **13 代将軍**〔7　　　　〕を殺害後，仲間割れを起こし激しく対立。

久秀の攻撃により東大寺大仏殿が焼け落ちた。

2　戦国大名の出自

①**守護大名**出身

佐竹（常陸），〔8　　　　〕（甲斐），〔9　　　　〕（駿河・遠江），六角（南近江），

大内（周防・長門），**大友**（豊後），〔10　　　　〕（薩摩・大隅）など。

②**守護代**出身

長尾のち〔11　　　　〕（越後），〔12　　　　〕（越前），

織田（尾張），尼子（出雲）など。

③国人など地方武士出身

伊達（陸奥），最上（出羽），浅井（北近江），〔13　　　　〕（安芸），

長宗我部（土佐），龍造寺（肥前）など。

④その他

伊勢のち〔14　　　　〕（伊豆・相模→将軍直臣），斎藤（美濃→商人），

松永（大和→三好氏の家臣）など。

まとめ

応仁・文明の乱は，

将軍家・管領家の後継争いに有力守護大名の勢力争いが絡まり発生した。

畿内は幕府・朝廷・寺社勢力の拠点であるため有力戦国大名が出なかった。

Chapter２　戦国大名の支配

目標
大名領国制について知ろう。
喧嘩両成敗法について正確な意味を知ろう。

1　戦国時代の情勢

①**東北→**陸奥の〔1　　　　〕**氏**など国人出身者が群雄割拠

②〔2　　　　〕**→北条氏〔後北条氏〕**が早雲・氏綱・**氏康**・氏政の４代で大半を支配

　北条早雲〔伊勢宗瑞〕が，堀越公方足利政知の遺児茶々丸を滅ぼし伊豆を奪う。

　のち相模に進出して小田原を本拠とした。

③中部→最大の激戦区

　A　**甲斐→**守護の**武田信玄〔晴信〕**が信濃に進出し上杉謙信と**川中島**で５度戦う

　B　**越後→**守護代**上杉謙信**〔長尾景虎〕が上杉〔山内〕憲政から守護・**関東管領**を継承

　C　**越前→**守護代**朝倉孝景〔敏景〕**が斯波氏から守護職を奪う

　D　**駿河→今川**氏親・〔3　　　　〕父子が**遠江**のち三河にも進出し強大化

　E　**尾張→織田**信秀・**信長**父子が守護の斯波氏にかわり台頭

　F　**美濃→**〔4　　　　　　　〕が守護の土岐氏を滅ぼす

④近畿→有力戦国大名は育たず

　A　**近江→浅井氏**が守護の京極氏を倒し**北近江**を制圧（南近江は六角氏が支配）

　B　大和→〔5　　　　　　　〕が三好三人衆と対立

⑤**中国→**守護代の陶晴賢により**大内義隆**が滅亡（1551 年）

　1555 年の厳島の戦いで陶晴賢を滅ぼした**安芸**の〔6　　　　　　　〕が台頭。

　のち出雲の尼子氏も滅ぼし全土を支配。

⑥〔7　　　　〕**→土佐**の〔8　　　　　　　　　　〕が大半を統一

⑦**九州→**肥前の龍造寺氏と豊後の**大友氏**と薩摩・大隅の〔9　　　　〕**氏**が並立

2　戦国大名の分国支配＝大名領国制

①性格

　幕府（将軍）権力から独立し，**分国（＝大名領国）内の一元的支配**を達成。

　荘園公領制を否定し，地方武士と農民を直接支配。

②**家臣団**の編成→国人・地侍を家臣化（＝［10　　　　　　　　］**制**）
親子関係に似た協力体制を軍事行動・日常生活ともに維持し，家臣団内の連携をはかろうとした制度。これにより長槍・鉄砲を使用した集団戦が可能となった。

③**分国法**［家法］の制定→分国経営の基本法，中世法の集大成。

A　家臣団の統制→当時は依然家臣団の独立性が強く，統制に苦慮。
私的同盟の禁止，領地の自由売買禁止，**有力家臣の城下町への集住**，
嫡子単独相続の励行，［11　　　　　　　　］
（＝私闘の禁止・**自力救済**の否定），**連坐制・縁坐制**など。

B　農民の統制→年貢納入の規定，逃散対策の規定など

④おもな分国法（ABは家訓）

A　朝　倉　氏（越前）→**朝倉孝景条々〔朝倉敏景十七箇条〕**
B　**北　条　氏（相模）→早雲寺殿廿一箇条**
C　相　良　氏（肥後）→相良氏法度
D　大　内　氏（周防）→大内氏掟書〔大内家壁書〕
E　今　川　氏（駿河）→**今川仮名目録，今川仮名目録追加**
F　**伊　達　氏（陸奥）**→［12　　　　　　　］※**伊達稙宗**が制定した**最大の分国法**（171条）
G　**武　田　氏（甲斐）→甲州法度之次第〔信玄家法〕**
H　結　城　氏（下総）→結城氏新法度
I　六　角　氏（近江）→**六角氏式目**〔義治式目〕
J　三　好　氏（阿波）→新加制式
K　長宗我部氏（土佐）→長宗我部氏掟書〔長宗我部元親百箇条〕

北条早雲

⑤土地支配→荘園公領制を否定し**検地帳**に登録した農民を直接支配
家臣の地位・収入を保障する代わりに，
自己申告制の**指出検地**により［13　　　　］制に基づく**軍役**を賦課。

⑥富国強兵策→大量の物資の生産・調達が必要とされた

A　鉱山の開発→金山（甲斐・伊豆・駿河）や**銀山**（生野・**石見**）など
B　農業の振興→灌漑，治水事業（**信玄堤**〔釜無川と御勅使川の合流点〕など）
C　商業の振興→撰銭令，**楽市令**，宿駅・伝馬の設置と関所の撤廃，**城下町**の建設など

まとめ
戦国大名は幕府権力から独立し，分国内の一元的支配を行った。
私闘の禁止と自力救済の否定が喧嘩両成敗法だった。

第 9 講　PART 2　確認問題

1　応仁・文明の乱の原因となった将軍家の後継争いで対立した足利義政の弟はだれか。

① 足利義教　② 足利義視
③ 足利義尚　④ 足利義稙

2　1565 年に殺害された室町幕府 13 代将軍はだれか。

① 足利義澄　② 足利義栄
③ 足利義材　④ 足利義輝

3　守護大名出身の戦国大名はどれか。

① 朝倉氏　② 上杉氏
③ 毛利氏　④ 島津氏

4　国人など地方武士出身の戦国大名はどれか。

① 伊達氏　② 大友氏
③ 今川氏　④ 大内氏

5　堀越公方足利政知の遺児茶々丸を滅ぼし伊豆を奪ったのはだれか。

① 北条氏政　② 北条氏康
③ 北条早雲　④ 北条氏綱

6 越前を支配したのはだれか。

① 上杉謙信　② 武田信玄
③ 斎藤道三　④ 朝倉孝景

7 伊達稙宗が制定した最大の分国法はどれか。

① 甲州法度之次第　② 塵芥集
③ 新加制式　④ 今川仮名目録

8 戦国時代，銀山があったのはどこか。

① 伊豆　② 甲斐
③ 石見　④ 駿河

第９講　PART２　確認問題 解答

1 解答：②　将軍家の後継争いでは，**足利義視**〔義政の弟〕と**足利義尚**〔義政の子〕が対立した。

2 解答：④　13 代将軍**足利義輝**は，家臣の松永久秀や三好三人衆によって殺害された。

3 解答：④　①の朝倉氏と②の上杉氏は**守護代**出身，③の毛利氏は国人で地方武士出身。

4 解答：①　②の大友氏，③の今川氏，④の大内氏はいずれも**守護大名**出身。

5 解答：③　**北条早雲**〔伊勢宗瑞〕は，のち相模に進出して小田原を本拠とした。

6 解答：④　①の上杉謙信〔長尾景虎〕は**越後**，②の武田信玄〔晴信〕は**甲斐**，③の斎藤道三は**美濃**を支配した。

7 解答：②　①の**甲州法度之次第〔信玄家法〕**は武田氏（甲斐），③の新加制式は三好氏（阿波），④の今川仮名目録は今川氏（駿河）の分国法〔家法〕。

8 解答：③　①の伊豆，②の甲斐，④の駿河には金山があった。